

木もれ陽

文責 平川 千秋

「実りの秋」

朝夕と日中の気温差が大きくなってきました。今日から登校時の服装も冬服に変わり、ネクタイ・リボンを整える形に戻ったので、ちょっぴり気持ちが引き締まったのではありませんか？

令和2年度も折り返し地点を迎えました。明日は3年生実力テスト、水曜日は生徒会役員選挙、印旛郡市駅伝大会が実施されます。季節の変化とともに学校の中も世代交代に加速がつく時期です。進路選択・進路決定を控えている3年生。生徒会活動・部活動でリーダーとしての活躍が求められる2年生。サブリーダーとしての動きを身に付けなければならない1年生。281人全員が“今、自分がやるべきこと”にしっかりと対峙することが、自分自身のために、そして玉造中学校のために必要な時期です。



市場には新米やたくさんの果物が並び、自然界はまさに“実りの季節”を迎えています。環境に適応し、自らの力で変化している植物もあれば、人が手を加え、改良を重ね、新たな品種が誕生している作物もあります。例年であれば作物の豊穡を祝う祭礼が盛大に行われ、人も街も活気づく時期。ところが、今年はちょっと寂しい秋になっていますね。それでも、丹精込めて作られたものが台風等の災害を乗り越えて立派な実を付けた様を見るのはうれしく、ありがたいことです。

我々人間は植物や農作物のように一年ごとに実を付けるということはありません。学習や仕事で成果を出したり、直面する困難を乗り越えたり、人として成長を重ねていく生物です。その成長の度合いを確認する時期として、年度末や年末とならんで今の時期はふさわしい時期だと思います。昨年と立場が変わっている中、責任を持って取り組むことがどれだけできているか、物事に慣れて気持ちが緩んでいることはないか、自信を身に付けてやり抜いていることがあるか等、自然界の実りの秋に、人間界を生きる私たちも自らを振り返ってみましょう。「成長していますよ！」と胸を張って言えることをぜひ見つけてみてください。

「夕焼けに鎌を研げ」



「夕焼けに鎌を研げ」これはひと昔前の国語の教科書にも“ことわざ”の学習として載っていたものです。さて、どんな意味かわかりますか？

「夕焼けは明日晴れると言われることから、明日の農作業に備えて鎌を研いでおけ」という教えがこめられた言葉です。

先を見越して準備することが日常化している人がいる一方で、いつもその場になってあたふたと行動している人はいませんか。たとえば、テストが終わったときは、次こそ早くから勉強を始めてあわてないようにしよう！と反省するのに、そのうち忘れて毎回同じ反省を繰り返す人はまさに後者ですね。災害の際も「備えあれば憂いなし」と言われます。“先を見通して準備しておく”という先人の教えを、令和を生きる私たちも見習いたいものです。